

# 令和6年度 市の決算と財政状況

決算は9月4日開会の市議会定例会で審議されています。

(問い合わせ)財政課(市庁舎5階、☎65・4106)

令和6年度決算のページは9月30日 以降に公開予定です。

市ホームページID.1003561



### 般会計の収支

※〈 〉は前年比。

※歳出の各項目には関係する職員の給与費を含めています。

### 歳入

### 総額1015億7520万円〈97億8474万円介〉

令和5年度と比較して、諸収入や市債などが大きく 増加しました。

- 諸収入:十勝圏複合事務組合からごみ処理施設整備 などに伴う分配金を受けたことにより増加。
- 市 債:小学校・義務教育学校の普通教室などへ の空調整備に伴い学校環境整備費が増加。
- その他:高等教育整備基金の廃止などに伴い基金 繰入金が増加。

# 【歳入と歳出の差引額】

令和6年度中に完了せず、 令和7年度に繰り越した事業 の財源928万円もここに含ま れています。

これを除く実質的な黒字額

は、12億9209万円でした。

### 歳出

### 総額1002億7383万円〈100億2170万円介〉

令和5年度と比較して、教育費や衛生費、民生費な どが増加した一方、総務費は減少しました。

● 教育費:学校施設空調整備事業費などが増加。

消防費

- 衛生費:廃棄物処理施設整備基金積立金が増加。
- 民生費:定額減税補足給付金給付費や障害者自立 支援給付費などが増加。
- 総務費:ふるさと納税寄附額減少により返礼品な どに係る経費が減少。

消防や救急など

34億6554万円 (3836万円 f)

### その他 施設使用料や財産収入など 170億9880万円 (38億9373万円介) 市民・法人が納めた税金 市債 230億3137万円 長期的な借入金 (2億6228万円↓) 56億6633万円 〈24億4414万円①〉 歳 入 道支出金 道からの補助金など 国庫支出金 67億1819万円 国からの補助金など 〈4億5508万円① 193億8503万円 6億2732万円↓〉 諸収入 地方交付税 貸付金返還金や給食費など 132億3275万円 164億4273万円 〈27億8828万円介〉 〈10億9311万円☆〉

### 農林水産業費 農業振興や土地改良など **49億7335万円**〈6億1579万円介〉 総務費 庁舎管理や防災など 55億6788万円 〈3億8145万円↓〉 予防接種やごみ処理など 65億8926万円 〈23億9452万円☆〉 土木費 道路や公園の整備など

69億5400万円 〈4680万円↓〉

70億8168万円 (8億9132万円分)

産業・観光の振興など

歳 出

公債費

議会費や諸支出金など 69億1799万円 25億6522万円分

福祉や生活保護など 391億3976万円 〈17億799万円☆〉

教育費 学校教育・生涯学習の経費など 117億8996万円 〈24億7110万円☆〉

借入金の返済費 **77億9441万円**〈2億3435万円↓〉

## 特別会計の収支

市の会計には、一般会計のほか、国民健康保険 会計や介護保険会計、ばんえい競馬会計など、全 部で6つの特別会計があります。

特別会計は、利用者が負担する保険料や使用料 などが主な財源で、収入と支出の 関係を明確にするため、一般会計

と区分して経理を行っています。 特別会計の決算額は右の表のと

おりです。

## -般会計と特別会計の決算

	会計区分			歳入	歳出	翌年度繰越 事業財源	実質収支
		一般会計		1015億7520万円	1002億7383万円	928万円	12億9209万円
	特	国民健康保険会計		154億6731万円	154億5033万円	_	1698万円
	1ন	後期高齢	者医療会計	31億2795万円	30億961万円	_	1億1834万円
	別	介護保険会計		173億9778万円	167億6815万円	_	6億2963万円
	会	中島霊園事業会計		4921万円	4921万円	_	_
	= I	ばんえい競馬会計		594億8188万円	592億9427万円	_	1 億8761万円
	計	駐車場事業会計		2646万円	2629万円	_	17万円
		合	計	1971億2579万円	1948億7169万円	928万円	22億4482万円

### これからの帯広市の財政

自治体の財政状況を示す指標として、4つの健 全化判断比率があります。各自治体にはこれらの 指標の公表が義務付けられています。(右記)

帯広市の財政は、いずれも早期健全化基準を下 回っており、健全な状況を維持しています。

しかし、高齢化の進行などに伴う社会保障費の 増加や、公共施設の老朽化に加え、物価高騰への 対応などの課題があり、厳しい財政状況が続くこ

とが予想されます。

限られた財源の中で、事 業の選択と集中を図りなが ら、将来を見据えた各種施 策の推進に取り組み、まち づくりを進めていきます。

### ❶ 実質赤字比率

市の標準的な収入に対して、普通会計\*1の実質的 な赤字額がどのくらいの割合を占めるかを示す指標。

令和6年度 黒字決算のため、算出なし

### 3 実質公債費比率

一般会計などが負担する長期の借入金の返済や それに準ずる支出が、市の標準的な収入に対して、 どれくらいの割合を占めるかを示す指標。

### 実質公債費比率の推移



### ② 連結実質赤字比率

実質赤字比率に、その他の特別会計や企業会計 の実質的な赤字額も含めて算出した指標。

令和6年度 **黒字決算のため、算出なし** 

### 4 将来負担比率

一般会計などが抱える実質的な負債の残高が、 市の標準的な収入に対してどれくらいの割合にな るのかを示す指標。

### 将来負担比率の推移



- ※1 普通会計…全国の自治体の財政状況を比較するための会計基準。帯広市では一般会計に中島霊園事業会計を加えたもの。
- ※2 早期健全化基準…財政破綻を防止するために設けられた危険水準を示す。4つの健全化判断比率のうち、1つでも基準を上回ると、財政の健全化に取り組む必要がある。